**第４回　魚津市の財政を考える市民会議　会議録**

○日　時

　平成29年10月30日（月）19時00分～20時15分

○場　所

　魚津市役所　２階　第１会議室

○配布資料

　資料１～３　魚津市の財政を考える市民会議意見の集約と平成30年度予算編成に向けて

○委　員

|  |  |
| --- | --- |
| 魚津商工会議所 | 石川　勝康 |
| 北陸税理士会魚津支部 | 濱多　善克 |
| 西田哲也りんご園 | 西田　哲也 |
| 米工房Jasmine | 小林　由紀子 |
| 公益社団法人新川青年会議所 | 若林　健嗣 |
| 魚津市男女共同参画地域推進員連絡会 | 木下　理佳 |
| 魚津市自治振興会連合会 | 伊藤　甚宰 |
| 社会福祉法人海望福祉会 | 大﨑　雅子 |
| 魚津市ＰＴＡ連合会 | 浅野　朱実 |
| 魚津市副市長 | 四十万　隆一（座長） |
| 魚津市企画総務部長 | 川岸　勇一 |
| 魚津市財政課長 | 池村　知明 |
| 魚津市総務課長 | 広田　雅樹 |

　市民　９名（うち４名は所用につき欠席）

　職員　４名

○会議内容

１　資料説明

　　各委員へ資料を簡潔に説明。

２　意見交換

委員　スマートフォン対応のＨＰに改修されたが、アクセス数は確認できるのか？

　⇒　担当課で確認できる。事務事業評価の成果指標にもアクセス数を使っている。

委員　小学校の利活用について、大きな施設のため改修には多額の費用もかかる・・地元の意見も聞きながら活用していただきたい。

　⇒　閉校となる学校施設の利活用について、地元とも協議中である。耐震性や老朽化が問題となっており、改修すべきか取り壊して新築すべきか難しい。また、大きな施設の場合、空きスペースができてしまう。

委員　固定資産税が増えればいいなと思う。

　⇒　ここ数年は、新幹線のおかげで償却資産が増え固定資産税は安定している。しかし、ここ20年ほどは毎年地価が下がっている状況である。現在、市営住宅の跡地を民間宅地としての活用を図っている。固定資産税増に繋げたい。

委員　閉校となった小学校を取り壊した場合、災害があった時の地域の避難所がなくなってしまうのかと心配である。

　⇒　市としては公共施設の総量を減らしていく方針であるが、地域の拠点となる施設については、災害時に避難できる場所として体育館等は基本的には残していきたい。ただし、拠点以外の空きスペースで移住定住体験事業等に利用できないか等、新しい機能を持った施設の在り方を検討していく必要がある。

委員　住民参加のイベントを充実させて、魚津の良い所を発信し、たくさんの方に知ってもらうことが大切だと思う。

　⇒　住み続けたいまちに思ってもらえるように工夫したい。

委員　福祉避難所と一般の避難所の区別について整理し住民に周知したらいいと思う。

　⇒　津波ハザードマップの見直しを現在しており、それにあわせて説明していきたい。また、避難勧告のタイムプランの整理を地区と一緒に確認しながら進めたい。高齢者含め介護の必要な人の避難について整理していきたい。

委員　避難所には、お手洗いと入浴の環境の充実を進めてもらいたい。

⇒　入浴施設はなかなか難しいが検討課題としたい。

委員　わかりやすい広報紙として、「こども広報」をつくり学校で配布すれば、伝えたいことが、親世代の目にも留まるのでは？

⇒　工夫すればできると思う。検討させていただきたい。

委員　少人数の放課後学童の対応について継続要望の声があるようだが・・廃止となるのか？

　⇒　小学校が統合となり、地区での放課後学童を検討していたが、保護者には学校のそばでとの声もありギャップが生じている。また、学童の支援員の確保が難しいのと対象児童を３年生から６年生まで拡大した時の場所の確保等の検討課題がまだまだたくさんある。

最後に新年度に向けて・・・

　⇒　委員に皆様のご意見を受けて、これまでの会議で話題にしてきたが、経常収支比率を改善するために、いつまでに何ポイント下げるとういうような改善計画を財政が中心になって定めてお示ししたいと考えている。来年も市民会議を継続していきたい。